

特別定額給付金の申請はお済みですか？

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、10万円（特別定額給付金）の給付を実施しています。まだ給付金の申請を行っていない世帯の人は、申請期限が8月10日までとなっていますので、忘れずに申請をお願いします。

詳しくは、市のホームページをご覧ください。特別定額給付金係までお問い合わせください。

申請期限 8月10日（月・祝）

申請方法 市が発送した申請書に必要事項を記入の上、返信用封筒で郵送するか、マイナポータルから必要事項を入力した上で、電子申請してください。

問合せ 特別定額給付金係 ☎ 73-8000、☎ 73-8028
✉ kyufu@awara.lg.jp



それ、詐欺かもしれません！

特別定額給付金に便乗した不審な電話やメール、偽サイトが全国で相次ぎ、県内でも事例が確認されています。個人情報を出し、行政手続きを装ってお金をだまし取る詐欺の手口とみられます。怪しい電話はすぐに切り、メールは無視してください。また、自治体などを装った偽サイトにご注意ください。

あわら市HPのURL <http://www.city.awara.lg.jp/>
問合せ あわら警察署 ☎ 73-0110

- 絶対に教えない！
暗証番号、マイナンバー、口座番号
- 渡さない！
通帳、キャッシュカード



- 県や市町、総務省などが以下を行うことは絶対にありません！
- ×メールを送り、申請手続きを求めること
- ×ATM（現金自動預払機）の操作をお願いすること
- ×受給にあたり、手数料の振り込みを求めること
- ×給付金の申請代行を申し出ること



レジ袋削減にご協力ください

プラスチックは、非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、製品の軽量化や食品ロスの削減など、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、廃棄物や海洋プラスチックごみが増大し、地球温暖化の一因となるといった問題もあります。

このような状況を踏まえ、全国でプラスチック製買い物袋、いわゆるレジ袋の有料化を行うこととなりました。これは、普段何気なくもらっているレジ袋を有料化することで、本当に必要かを考えていただき、私たちのライフスタイルを見直すきっかけにしたいからです。皆さんも、レジ袋有料化をきっかけに自身のライフスタイルを見つめ直し、エコバッグを持ち歩くなど、できることからプラスチックを賢く削減できる工夫をしてみましょう。



新型コロナウイルスで こころが疲れていませんか？

市民の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、いつもと違う生活が長期間続いていることで、心身の不調を感じていませんか？相談員がお悩みをお聞きします。一人で不安な気持ちを抱え込まず、お気軽にご相談ください。

問合せ ホットサポートふくい（県総合福祉相談所内）
☎ 0776-26-4400（平日9時～17時）

医療従事者の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症対策に従事する医師や看護師の人などを対象に、経験豊かな公認心理士が医療機関などに出向き、相談をお受けします。

問合せ 県障がい福祉課 ☎ 0776-20-0634
（平日8時30分～17時15分）

人権に対する配慮のお願い

新型コロナウイルス感染症に関連して、特に感染者や濃厚接触者について、あたかも加害者であるかのような書き込みや誹謗中傷が見られます。あなたを含め、誰もが感染者や濃厚接触者となり得る状況です。感染者や濃厚接触者、診療に携わった医療機関やその関係者に対し、誤解や偏見による差別を行わないようお願いします。

問合せ 消費者向け ☎ 0570-080180
事業者向け ☎ 0570-000930
生活環境課 ☎ 0776-73-8017

市民協働課からのお知らせ

ふるさとあわらサポート基金（ふるさと納税）の状況をお知らせします

ふるさとあわらサポート基金は、市の事業を寄付という形で応援していただく制度です。令和元年度に寄せられた寄付金は表のとおりです。

また、令和元年度は「子どものことを考えた学校づくりのための事業」から2300万円と、「その他あわら市を元気にするために市長が必要と認める事業」から2700万円を金津小学校のプール工事事業に、「その他あわら市を元気にするために市長が必要と認める事業」から150万円を市民活動サポート助成事業に活用させていただきました。皆さまのご支援に心からお礼申し上げます。

問合せ 市民協働課 市民活躍推進 G ☎ 73-8003

事業の種類	令和元年度			平成30年度までの基金合計	平成31年度末基金総額
	件数	寄付金額	基金取崩額		
芦原温泉駅周辺に活気を取り戻し、快適な都市空間に生まれ変わらせるための事業	200件	1407万8000円	-	2762万6500円	4170万4500円
ゆのまち情緒にあふれ、にぎわいと華やぎを感じさせる温泉街づくりのための事業	193件	1375万7000円	-	3084万6000円	4460万3000円
子どものことを考えた学校づくりのための事業	115件	668万9000円	2300万円	2684万5153円	1053万4153円
北瀨湖や竹田川に自然の息吹に満ちた空間にゆみがえらせるための事業	55件	231万1000円	-	1095万4500円	1326万5500円
子どもを生み、育てやすい環境と施設づくりのための事業	150件	886万2000円	-	2752万9500円	3639万1500円
その他あわら市を元気にするために市長が必要と認める事業	348件	1972万7000円	2850万円	6653万8347円	5797万347円
//（福井県共同窓口受入分）※	4件	18万5530円			
//（基金利子など）	-	1万9470円			
合計	1065件	6562万9000円	5150万円	1億9034万円	2億446万9000円

※福井県共同窓口受入分は、平成31年1月～令和元年12月分です。

6月は「男女共同参画月間」です（福井県では、6月を「男女共同参画月間」と定めています）



第2次あわら男女共同参画プランについて

～男女が 共に支えあい 共に歩み 共に輝く「あわら」をめざして～



市では、全ての人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる豊かな活力ある社会を目指しています。そのための具体的な施策を示したものが「あわら男女共同参画プラン」です。プランの重点目標は、次のとおりです。

男女の人権の尊重

あらゆる場面において、男女が人間としての尊厳を保ちながら、自由に生きるための「人権」が保障されることが必要です。

男女の固定的な役割分担意識の改革

「男はこうあるべき、女はこうあるべき」という先入観を見直し、あらゆる機会を通して、男女共同意識を高める必要があります。

男女が個性と能力を発揮することによる多様性に富んだ活力ある社会の実現

誰もが個性と能力を発揮して、自分で生き方を選び、利益を受けることができる活力ある社会づくりが必要です。

あらゆる分野での男女のパートナーシップの実現

男女が共に責任を担って、あらゆる分野に参画し、お互いに認め合い、協力し合う意識づくりが必要です。

平成31年度（令和元年度）のプランの具体的な施策と実施状況を市のホームページ（<http://www.city.awara.lg.jp/>）で公表していますのでご覧ください。

問合せ 市民協働課 市民活躍推進 G ☎ 73-8003